



イムス富士見総合病院

医療

公開講座



乳幼児に多い熱性けいれん

高熱を出していた子供がいきなりぴくぴく痙攣した！！

こんなときあなたはどうしますか？

生後6ヶ月～5歳の乳幼児期に発症することが多く、風邪や感染症などによって体温が急激に上昇したときに脳がけいれんを起こしやすくなり発症します。冷静な対応・判断ができるようにどんな病気か小児科の医師がお話します。

講師

小児科医師

おおつぼ

みな

大坪

身奈

日時

平成30年9月13日(木)

11:00~12:00

(開場 10:45)

場所

イムス富士見総合病院

A館 8F 会議室

参加費

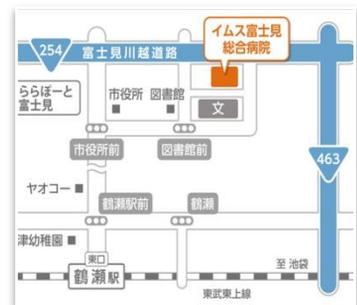
無料

電話

地域医療連携室

049-251-3061

※ご予約は上記にお電話、もしくは、正面玄関近くのグリーンカウンターでも可能です。



熱性けいれんを知ろう

冷静な対応・判断で子どもを守ろう